



*

私、高校生の時にフランスに10か月留学をしていました。

ホストファミリーはパパ・ママ・長男・次男・長女・次女・三女の7人家族でした。

大家族なのですが、上二人のお兄ちゃんたちはすでに家を出ていたので、

私はホストパパ・フレッド、ホストママ・ファビエンヌと、1個下で当時16歳のドリン、当時11歳のオフエリー、そして当時6歳のローズの5人と一緒に生活をしていました。

そんな留学生活が半年以上たった2月頃、オフエリーの誕生日が近づいていました。

ファビエンヌがオフエリーに何がほしいのかと聞くと、彼女は

"Je veux un cochon d'Inde!!" と答えました。

直訳すると、「私インドの豚がほしい！！」です。

私エエエエエエエって思いました。

だって、だって、11歳の女の子がですよ？インドの豚なんてそんなマニアックな動物ほしがり
ますかと！

まあ広い庭があり、鶏やうさぎ（食用）も飼っていたので、飼えんことはないだろうと思いましたが、それにしても変わった女の子だな～と思いました。

ところがどっこい！数日後、ペットショップへ行き、オフエリーについていくと、

そこにいたのは「モルモット」でした！

ほほお〜〜〜モルモットのことはc Cochon d'Indeというのかあ〜〜〜おもしろ〜〜〜い と、言葉は面白いなあとおホホホいたしました。

そしてつい最近、マンガを読んでいると、

モルモットの正式名称は「テンジクネズミ」だということを知りました。

テンジクとは、天竺＝インドの旧名 ですよ！うわあああと感動いたしました。

しかしなぜ、テンジクブタではないのでしょうか。もしくはsouris d'Inde（インドのネズミ）とか。

それはわかりません。

ウィキペディアでしらべたところ、「テンジクネズミ」というのは種の名だそうです。

ちなみに英語ではGuinea pigというそうです。豚ですね。

しかしインドではなく、Guineaとはギニア（西アフリカ西端に位置する共和制国家だそうです）。

中国語ではなんと、豚鼠。ブタネズミ。驚きました。

まあ、確かに、フェイ斯的にはそうですね。

やっぱり言葉はおもしろいですね。